

第10回 ('15年12月16日: Keywords ... 計量ベクトル空間)

まとめ.

10-1. 重要な次元公式 ... 線形写像 $f: V \rightarrow W$ に対して、以下が成り立つ .

$$\text{null}(f) + \text{rank}(f) = n = \dim V$$

10-2. 計量ベクトル空間 ... V は複素 (or 実) ベクトル空間とする . 計量ベクトル空間 $(V, (\cdot, \cdot))$ とは、内積の定まっているベクトル空間 . ベクトル空間のある付加構造 . 計量ベクトル空間と書く場合、 (\cdot, \cdot) を略す場合がある .

10-3. 数ベクトル空間の標準内積 ... よくある \mathbb{R}^n の内積は、 $\mathbf{v} = (x_1, \dots, x_n)$ 、 $\mathbf{w} = (y_1, \dots, y_n)$ とすると、 $(\mathbf{v}, \mathbf{w}) = x_1 y_1 + \dots + x_n y_n$ である . これは、実数ベクトル空間の標準内積とよばれている . また、 \mathbb{C}^n のよくある内積は、 $\mathbf{v} = (x_1, \dots, x_n)$ 、 $\mathbf{w} = (y_1, \dots, y_n)$ とすると、 $(\mathbf{v}, \mathbf{w}) = x_1 \bar{y}_1 + \dots + x_n \bar{y}_n$ であり、複素数ベクトル空間の標準内積とよばれている . 複素計量ベクトル空間は一般に、 $(\mathbf{v}, \mathbf{w}) = \overline{(\mathbf{w}, \mathbf{v})}$ の性質を持つ . ベクトル $\mathbf{v} \in V$ のノルム $\|\mathbf{v}\|$ は $\sqrt{(\mathbf{v}, \mathbf{v})}$ と定義する .

v_1, \dots, v_n をベクトル空間 V の基底とすると、 $((v_i, v_j))$ はエルミート行列 (実の場合は対称行列) .

10-4. 直交 ... x, y が直交するとは、 $(x, y) = 0$ となることである .

10-5. 正射影ベクトル ... $(V, (\cdot, \cdot))$ を計量ベクトル空間とする . \mathbf{v}, \mathbf{w} を V のベクトルとする . このとき、 \mathbf{v} の \mathbf{w} への正射影ベクトル \mathbf{a} とは、 \mathbf{w} に平行で、 $(\mathbf{v} - \mathbf{a}, \mathbf{w}) = 0$ となるようなベクトルのことである . そのようなベクトルはただ一つ定まり、正射影ベクトルという .

今日の課題.

1. 計量ベクトル空間について理解すること . 2. 直交射影ベクトルを計算すること .

A-10-1. [計量ベクトル空間]

次の積が内積を与えることを示せ .

$$(1) \mathbf{u} = \begin{pmatrix} u_1 \\ u_2 \end{pmatrix}, \mathbf{v} = \begin{pmatrix} v_1 \\ v_2 \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^2, (\mathbf{u}, \mathbf{v}) = 2u_1 v_1 + u_2 v_1 + u_1 v_2 + 2u_2 v_2$$

$$(2) f(x), g(x) \in C([0, 1]), (f, g) = \int_0^1 f(x)g(x)dx$$

$$(3) (a_n), (b_n) \in \{(r_n) \in s(\mathbb{R}) \mid \text{十分大きい } n \text{ に対して } r_n = 0\}, ((a_n), (b_n)) = \sum_{n=0}^{\infty} a_n b_n$$

$$(4) \mathbf{u} = \begin{pmatrix} u_1 \\ u_2 \\ u_2 \end{pmatrix}, \mathbf{v} = \begin{pmatrix} v_1 \\ v_2 \\ v_3 \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^3, (\mathbf{u}, \mathbf{v}) = 2u_1 v_1 + u_2 v_1 + u_1 v_2 + 2u_2 v_2$$

$$(5) f(x), g(x) \in C^1([0, 1]), (f, g) = \int_0^1 f(x)g(x)dx + \int_0^1 f'(x)g'(x)dx$$

A-10-2. [内積]

(1) 実計量ベクトル空間 $(\mathbb{R}^2, (\cdot, \cdot))$ が $(\mathbf{e}_1, \mathbf{e}_1) = 1, (\mathbf{e}_1, \mathbf{e}_2) = 1, (\mathbf{e}_2, \mathbf{e}_2) = 2$ を満たすとき、 $\|3\mathbf{e}_1 + 4\mathbf{e}_2\|$ を求めよ .

(2) 実計量ベクトル空間 $(\mathbb{R}^2, (\cdot, \cdot))$ が $\|\mathbf{e}_1\| = 1, \|\mathbf{e}_1 + \mathbf{e}_2\| = 2, \|\mathbf{e}_1 + 2\mathbf{e}_2\| = 3$ を満たすとき、 $\|\mathbf{e}_2\|$ を求めよ .

A-10-3. [内積]

(1) B-10-1(1)の内積に対して、 $e_1 = \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \end{pmatrix}, e_2 = \begin{pmatrix} 0 \\ 1 \end{pmatrix}$ の内積をそれぞれ求めよ。

(2) 以下の部分ベクトル空間の直交補空間を求めよ。

$$\{x \in \mathbb{R}^3 \mid x_1 + 2x_2 + x_3 = 0, 2x_1 + 3x_2 - x_3 = 0\}$$

(3) 以下の部分ベクトル空間の直交補空間を求めよ。

$$\{f \in P(\mathbb{R})_3 \mid f'(X) = 0\}$$

A-10-4. [直交射影]

次のベクトルの正射影を求めよ。

(1) \mathbb{R}^2 の標準計量に関して、 $\begin{pmatrix} 1 \\ 2 \end{pmatrix}$ の $\begin{pmatrix} 2 \\ 3 \end{pmatrix}$ への直交射影。

(2) \mathbb{R}^3 の標準計量に関して、 $\begin{pmatrix} 1 \\ 1 \\ 0 \end{pmatrix}$ の $\begin{pmatrix} 0 \\ 1 \\ 2 \end{pmatrix}$ への直交射影。

(3) \mathbb{R}^4 の標準計量に関して、 $\begin{pmatrix} 0 \\ 1 \\ 2 \\ 1 \end{pmatrix}$ の $\begin{pmatrix} 0 \\ 2 \\ 1 \\ -2 \end{pmatrix}$ への直交射影。

(4) $P(\mathbb{R})_2$ の計量 $\int_0^1 f \cdot g dx$ に関して、 $f(X) = X^2 + X + 1$ の $g(X) = 2 + X$ への直交射影。

(5) $s(\mathbb{R})_0$ の計量 $\sum_{n=1}^{\infty} a_n b_n$ に関して、 $(1, 1, 0, 0, 0, \dots)$ の $(1, 1, 1, 1, 0, 0, \dots)$ への直交射影。

B-10-1. [計量ベクトル空間]

以下のような計量ベクトル空間 $(V, (\cdot, \cdot))$ について問題に答えよ。

(1) $(\mathbb{R}^2, (\cdot, \cdot))$ が $(e_1, e_1) = 1, (e_1, e_2) = 1, (e_2, e_2) = 2$ を満たすとき、 $\|3e_1 + 4e_2\|$ を求めよ。

B-10-2. [商空間の基底]

V の基底を任意に取る。この基底の部分集合をとると、必ず V/W の基底を構成するものが存在することを示せ。

B-10-3. [商空間からの線形写像を作るための必要十分条件]

U, V をベクトル空間とし、 W を V の部分空間とする。線形写像 $F: V \rightarrow U$ が自然に線形写像 $f: V/W \rightarrow U$ を誘導するためには、 $\text{Ker}(F) \subset W$ となることが必要十分であることを示せ。

B-10-4. [線形写像がリフトすること]

U, V をベクトル空間とし、 W を V の部分空間とする。商空間から U への線形写像 $f: V/W \rightarrow U$ に対して、ある線形写像 $\tilde{f}: V \rightarrow U$ が存在して、 $\tilde{f}([v]) = f(v)$ とできることを示せ。

B-10-5. [ベクトル空間の線形写像による分解]

V をベクトル空間とする。 $f: V \rightarrow V$ を線形写像とする。このとき、 $V \cong \text{Im}(f) \oplus \text{Ker}(f)$ となることを示せ。

B-10-6. [表現行列]

以下の線形写像 F に対して指定の基底を使った表現行列を求めよ .

$$(1) F: \mathbb{R}^2 \rightarrow \mathbb{R}^3, F(v) = \begin{pmatrix} 2 & 1 \\ 1 & 0 \\ 4 & 3 \end{pmatrix} v, \{e_1, e_2\}, \{e'_1, e'_2, e'_3\} \text{ それぞれ標準基底}$$

$$(2) F: \mathbb{R}^2 \rightarrow \mathbb{R}^2, F(v) = \begin{pmatrix} 7 & -6 \\ 3 & -2 \end{pmatrix} v, \left\{ \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 2 \\ 1 \end{pmatrix} \right\}$$

$$(3) F: \mathbb{R}^3 \rightarrow \mathbb{R}^2, F(v) = \begin{pmatrix} 2 & 4 & 1 \\ 1 & -1 & 0 \end{pmatrix} v, \left\{ \begin{pmatrix} 2 \\ 0 \\ 3 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 0 \\ 1 \\ 1 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ 1 \end{pmatrix} \right\}, \left\{ \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 2 \\ 3 \end{pmatrix} \right\}$$

$$(4) F: P(\mathbb{R})_2 \rightarrow P(\mathbb{R})_2, F(f(X)) = 2f'(X) + 3f(X), \{1, X, X^2\}$$

B-10-7. [有限体上の内積]

p を素数とする . \mathbb{F}_p 上のベクトル空間 V において、 V 上の任意の内積は構成できないことを示せ .

B-10-8. [第一同型定理]

$f: U \rightarrow V$ をベクトル空間の間の全射線形写像とする . V' を V の部分空間とし、 $U' = \{u \in U \mid f(u) \in V'\}$ とおく . このとき、以下を示せ . ただし、 \cong は、同型写像を意味する .

(1) U' は U の部分空間である .

(2) $U/U' \cong V/V'$ である .

C-10-1. [内積]

以下のような計量ベクトル空間 $(V, (\cdot, \cdot))$ について問題に答えよ .

(1) $(\mathbb{R}^2, (\cdot, \cdot))$ が $\|e_1\| = 1, \|e_1 + e_2\| = 2, \|e_1 + 2e_2\| = 3$ を満たすとき、 $\|e_2\|$ を求めよ .

(2) $(\mathbb{C}^2, (\cdot, \cdot))$ が $\|e_1\| = 1, (e_1 + e_2, 2e_1 + e_2) = 5 + i, (2e_1 + e_2, e_2) = 3 - 2i$ を満たすとき、 $\|e_2\|$ の値を求めよ .

(3) \mathbb{R}^3 の標準計量に関して、 $(15, 2, 1)$ の $(-1, 1, 2)$ への直交射影 .

C-10-2. [直交性と一次独立性]

零ベクトルでないベクトル v_1, \dots, v_n が互いに直交するとき、これらのベクトルは一次独立であることを示せ .

C-10-3. [直交補空間]

$V = \mathbb{R}[x]_2$ とし、 V 上に A-10-1(2) の内積をいれておく . $W = \left\langle x - \frac{1}{2} \right\rangle$ とする . 以下の問題に答えよ .

(1) $W^\perp = \{v \in V \mid (v, w) = 0, \forall w \in W\}$ は V の部分ベクトル空間を成すことを示せ .

(2) W^\perp の基底を求めよ .